

輝北 新市誕生記念植樹祭を開催

2月17日、輝北町の岳野市有林で、新市誕生記念植樹祭が開催されました。

これは、新市が誕生して1年を記念する植樹祭と、九州全域で緑化を推進する九州電力㈱が実施する「九州ふるさとの森づくり事業」を併せて開催したもので、当日は、悪天候の中、約570人が参加。山下市長や各総合支所長、市議会議員などによる代表植樹や、みどりの少年団、九州電力関係者、林業団体等関係者などによる植樹が行われ、1.7haの市有林にケヤキやイチイガシなど、約7,000本の苗木が植栽されました。



山下市長や各総合支所長が代表植樹



植樹祭を手伝った「みどりの少年団」



悪天候の中、思い思いの場所に一般植樹を行いました

串良 串良町内を一周する24.7 kmで力走



2月9日、第49回串良町内一周駅伝大会（串良町青年団連絡協議会主催）が開催されました。

これは、社会体育の普及や健康増進などを目的に開催されているもので、小学生の部に5チーム、中高生の部に2チーム、一般の部に4チームが参加。沿道の市民の大声援を背に、串良町内を一周する11区間、24.7kmのコースを力走しました。各部の優勝は次のとおり。

小学生の部 = 串良サッカークラブ
 中高生の部 = 上小原中サッカー部
 一般の部 = 東部消防署

吾平 約600人が楽しんだウォーキング大会



2月4日、大隅広域公園周辺で第13回美里あいら心わくわくウォーキング大会が開催されました。

これは、誰でも気軽にできるウォーキングで心と身体の健康づくりを推進するとともに、吾平町の観光施設をもっと知ってもらおうと毎年開催されているもので、大隅広域公園や観光農園、吾平山上陵を巡る約4kmと約8kmで実施。大隅半島各地から約600人が参加して、思い思いのペースでウォーキングを楽しんでいました。

また、観光農園では採れたてのイチゴや地元産のお茶も振舞われ、喜ばれていました。

鹿屋 営農への決意を新たに



2月15日、鹿屋農業高等学校で卒業後、本格的に就農する生徒や、専門的知識等を学ぼうとする生徒を励まそうと「営農の門出を励ます会」が開催されました。

会では、「環境や人に優しい野菜づくりをしたい」「鹿児島県の畜産業に貢献したい」など、代表3人による抱負の発表などが行われたほか、最後は、同校で製造されている農校牛乳で乾杯し、営農への決意を新たにしていました。

鹿屋 チョコットの油断が事故のもと



2月14日、鹿屋女子高等学校の正門前で「バレンタインデー交通安全街頭キャンペーン」が開催されました。

キャンペーンには、鹿屋女子校の各クラスの代表など32人が参加。「安全運転をお願いします」と声をかけながら、チョコレートと「チョコットの油断が事故のもと」と書かれたチラシをドライバーに手渡し、交通事故防止を呼びかけていました。

鹿屋 輝北 串良 茶業振興会が統合



2月13日、市内のホテルで新鹿屋市茶業振興会の設立総会が開催されました。

同振興会は、市内に複数あった茶業振興会が統合したもので、農業関係の生産組織として初めての統合。総会には農家や行政関係者など約80人が出席し、初代会長に選ばれた安藤和文会長が「生産農家が連携を図ることで、茶の品質や生産性の向上を図りたい」と抱負を述べました。

鹿屋 ハローワーク鹿屋が移転オープン



2月13日、鹿屋合同庁舎（西原4丁目）にあったハローワーク鹿屋が旧バスセンター跡地に建てられた鹿屋市産業支援センター（北田町）の1階に移転しました。

セレモニーには関係者など約30人が出席。今川隆志鹿児島労働局長が「サービスの充実を図り求職者のニーズに応えたい」とあいさつし、玄関でテープカットを行い新しい事務所での業務開始を祝いました。

鹿屋 鹿屋市美術展を開催



2月4日～11日までの8日間、鹿屋市役所で第25回鹿屋市美術展が開催されました。

洋画、日本画、デザイン、彫刻、工芸、写真の6部門に196点の応募があり、入賞作品33点、入選作品117点を選考。最高賞となる市美術展大賞を受賞した貴島すみ子さんの洋画「華の香る午後」をはじめ、173点が展示されました。また、小中学生が対象のジュニア展も同時開催されました。

吾平 山崩れ現場に慰霊碑を建立



2月4日、一昨年吾平町上名の東原地区で発生した大規模な山崩れ現場に慰霊碑が建立されました。

この山崩れは、平成17年2月8日に発生。民家6棟が全壊し、1人が死亡、1人が重傷を負っています。慰霊碑は、住民など60人でつくる実行委員会が浄財などを集めて設置したもので、高さ約2m。当日は約100人が集まり、犠牲者の冥福と2度と惨事が繰り返されないことを祈りました。

鹿屋 長崎伝統の
『ハタ 凧揚げ』で交流



2月25日、霧島ヶ丘公園で長崎凧揚げ交流会が開催されました。

これは、星塚敬愛園で暮らす長崎県出身者などが、市民との交流と、ハンセン病への正しい知識の啓発を図ろうと行ったもので、今回で2回目。長崎から訪れた凧職人によるアーチ状の連凧を、ガラス粉をまぶした糸の凧で切る技の披露や揚げ方の指導などが行われたほか、約200人の来場者には、一銭凧が配られ、子供たちは会場狭しと駆け回りながら長崎伝統の凧揚げを楽しんでいました。

鹿屋 合格した喜びを報告



2月27日、全国商業高等学校協会主催のそろばん、電卓、情報処理、商業経済などの検定試験全8種目中7種目で1級に合格した鹿屋女子高等学校3年生8人と、システム利用者とプログラマーの仲介役を担うシステムアドミニストレータの国家試験初級に合格した同高3年生4人の計10人（2人は両試験で合格）が市役所を訪れ喜びを報告しました。

両試験はいずれも1校に1人でも合格者がいれば、快挙と言われるほど難しく、一校でこれほど多くの合格者が出るのは全国的にも大変めずらしいこと。夏休みや早朝など時間を惜しんで勉強してきたという生徒たちは「進学先や就職先で学んだ技術を生かして頑張ります」と抱負を話してくれました。

鹿屋 輝北 串良 吾平 県下一周市郡対抗駅伝競走大会
肝属チームは総合成績4位



「頑張れ!! 肝属チーム」と書かれた横断幕を横にゴールヘラストスタート



大会5日目、高須中継所で必死にタスキリレー



大会4日目、肝属チームは日間3位でゴール

2月17日から21日までの5日間、県内に春の訪れを告げる第54回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催され、県内の53区間、592.7kmを舞台に12チームが熱いレースを繰り広げました。

今大会から輝北地区も加わった肝属チームは、地元入りした4日目には3位に入るなど大健闘。川辺チームとのデッドヒートに競り勝ち、昨年に続いて総合成績で4位に入りました。

吾平 車いすと掛け時計を寄贈



2月25日、吾平小学校の6年生49人が、鹿屋市社会福祉協議会に車いす、グループホーム3か所に掛け時計を、寄贈しました。

この車いすと掛け時計は、児童たちが、昨年の5月から同校の児童や校区の住民に呼びかけて集めた空き缶やペットボトルの収益金で購入したものです。6年生を代表して橋口佳生くんは「地域に少しでも役立てたことを誇りに思います」と力強く話してくれました。

吾平 吾平地域生涯学習講座の
成果を発表



2月25日、湯遊ランドあいらで平成18年度吾平地域生涯学習閉講式・学習発表会が開催されました。

会では、リフレッシュ体操やフォーダンスなどの5講座4同好会の講座生が日ごろの学習の成果を発表したほか、折り紙や絵手紙など11講座の作品を展示。新規講座のストレッチヨガの発表では、観客が体の柔らかさに見入っていました。

鹿屋 フランス柔道クラブ
チームが表敬訪問



2月20日、フランスの柔道クラブチーム「スーシー柔道クラブ」が市役所を表敬訪問しました。

同チームは、国際交流や競技力向上を目指してフランス柔道連盟が日本へ派遣。チーム代表のジャン・クラウゼさんは「柔道を通してフランスと日本の交流を図りたい」と話し、2月18日から25日まで鹿屋体育大学で合宿を行いながら、地元の子供たちとの合同練習や交流試合などを行いました。

鹿屋 生涯学習の成果を発表



2月18日、市文化会館で平成18年度鹿屋市生涯学習大会が開催されました。

当日は、鹿屋市内の公民館や学習センターなどで学習した14団体が舞踊やダンスなどの舞台発表を行ったほか、落語家の三笑亭夢之助師匠による「健康は笑いから」と題した講演会が行われ、会場を訪れた約600人が熱心に聞き入っていました。

また、会場周辺では、特産品の販売もあり多くの人でにぎわいました。なお、2月14日から18日まで、市中央公民館で、各地区学習センターの講座生などによる作品の展示発表も行われました。

鹿屋 鹿屋市無形民俗文化財
勇壮な伝統行事「かぎ引き祭り」



2月18日、上高隈町の中津神社で豊作と林業の発展を祈念するかぎ引き祭りが開催されました。

この祭りは、かぎ状になった雄木と二股になった雌木の2本の神木を絡ませて、上高隈地区と下高隈地区の住民が引き合う勇壮な伝統行事。約350年以上の歴史を持ち、市の無形民俗文化財にも指定されています。

3本勝負のうち先に2勝した方に豊作が約束されるといわれており、今年は、雌木を持ち込んだ上高隈地区が2連勝を飾り、豊作が約束されました。